

「高度経済成長期教育史」研究部会（第7回）

日時：2022年10月14日（金）13:00～15:20

場所：野間教育研究所図書室

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 兼任研究員

山口和人所長・吉久知延・金沢千秋・川上智子（野間教育研究所事務局）

内容：(1) 米田研究員「大門正克他編『高度成長の時代1 復興と離陸』の検討 他」

1. 前回に続き、先行研究の検討

『高度成長の時代1 復興と離陸』（2010 大月書店）

序章 高度成長の時代 第4章 高度成長期における国民教育運動と恵那の教育

『高度成長の時代2 過熱と揺らぎ』（2010 大月書店）

第4章 教育の「能力主義」的再編をめぐる「受容」と「抵抗」

2. 高度経済成長期の東京都内の私立中学校・高等学校（川村学園）

内部進学だけで水増し入学 私立中学校の不振（公立の優位）

3. 安達文書の整理（文書のデジタル化作業を進行中）

- ・8月にデジタル化が終了した資料の一部「スティアリング・コミッティーの記録」資料の解説とともに、翻刻とデータの公開を予定

(2) 須田研究員「原子力の平和利用と教育に関する研究視点について」

- ・前回までの報告とその後の調査から現段階でまとめた年表について「原子力平和利用と教育に関する年表」（1952年～1973年）
- ・扱うべき対象や情報について状況を整理、研究視点の据え方を検討
 1. 政策動向の分析
 2. 新聞・マスメディアによる世論形成
 3. 日本原子力産業会議における教育会への要求
 4. 日本学術会議および研究者の動向
 5. 大学における原子力研究・原子力教育・技能者養成
 6. 高校教育における原子力教育の動向
 7. 初等・中等教育における原子力教育の動向
 8. 原子力発電所の誘致・立地の当事者

・次回研究会 11月18日（金）13:00～

・次々回研究会 12月16日（金）13:00～